議 案 第 ７３ 号

令　和　７　年　度

池田市水道事業会計決算説明書

１．水道事業決算報告書（決算書Ｐ．１～４）

（１）収益的収入及び支出（Ｐ．１～２）

［収　　入］

水道事業収益の予算額は、2,532,057,000 円を計上しました。

水道事業収益の決算額は、2,509,412,926 円で、予算額に対し 22,644,074 円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	2,135,182,834 円
（うち、仮受消費税	193,152,383 円）
営業外収益	374,230,010 円
（うち、仮受消費税	17,322,774 円）
特別利益	82 円
（うち、仮受消費税	7 円）

［支　　出］

水道事業費用の予算額は、2,296,682,000 円を計上しました。

水道事業費用の決算額は、2,185,273,566 円で、予算額のうち 111,408,434 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,037,817,355 円
（うち、仮払消費税	72,894,161 円）
営業外費用	147,071,664 円
（うち、仮払消費税	4,336,500 円）
特別損失	384,547 円

（２）資本的収入及び支出（Ｐ．３～４）

［収　　入］

資本的収入の予算額は、1,536,934,000 円を計上しました。

資本的収入の決算額は、1,212,114,448 円で、予算額に対し 324,819,552 円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

工事負担金	18,946,448 円
（うち、仮受消費税	770,504 円）
企業債	1,119,100,000 円
他会計補助金	1,068,000 円

補助金　　73,000,000円

［支　　出］

資本的支出の予算額は、2,853,402,200円を計上しました。

資本的支出の決算額は、2,416,261,082円で、地方公営企業法第26条の規定による繰越額が389,176,700円で、予算額のうち47,964,418円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	24,931,094円
（うち、仮払消費税	1,991,954円）
企業債償還金	695,134,700円
第２次施設整備費	1,696,195,288円
（うち、仮払消費税	148,243,944円）

なお、消費税及び地方消費税は、仮受消費税 211,245,668 円（収益的収入仮受消費税210,475,164 円と、資本的収入仮受消費税 770,504 円を加えた額）から、控除対象消費税等相当額 214,399,292 円（収益的支出仮払消費税 77,230,661 円と、資本的支出仮払消費税150,235,898 円及び貯蔵品購入仮払消費税 1,408,944 円の合計額から控除対象外消費税相当額等 14,476,211 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 119,680 円を差し引いた3,273,304円の還付となりました。

２．水道事業損益計算書（決算書Ｐ．５～６）

当年度の水道事業の経営実績は、次のとおりです。

１．営業収益1,942,030,451円に対し

２．営業費用1,964,923,194円で、差し引き営業損失は22,892,743円となりました。

３．これに営業外収益353,753,612円を加えた額から

４．営業外費用149,677,721円を差し引いた額181,183,148円が、経常利益です。

５．これに特別利益75円を加えた額から

６．特別損失384,547円を差し引いた額180,798,676円が当年度純利益です。前年度繰越利益剰余金は540,440円で、181,339,116円が当年度未処分利益剰余金です。

３．水道事業剰余金計算書（決算書Ｐ．７～８）

［資本金］

前年度末残高 10,035,328,139 円に、減債積立金取崩額 25,000,000 円を組み入れた額 10,060,328,139 円が、年度末残高です。

［資本剰余金］

＜受贈財産評価額＞

前年度末残高 721,670,000 円から変動はありません。

［利益剰余金］

＜減債積立金＞

前年度、利益剰余金処分額として積み立てた額 25,000,000 円から当年度取り崩した額 25,000,000 円を差し引き、当年度残高は 0 円です。

＜未処分利益剰余金＞

前年度未処分利益剰余金 25,540,440 円から減債積立金に積み立てた額 25,000,000 円を差し引いた額 540,440 円が繰越利益剰余金年度末残高で、当年度純利益 180,798,676 円を加えた額 181,339,116 円が、当年度未処分利益剰余金です。

４．水道事業剰余金処分計算書（決算書Ｐ．９）

当年度未処分利益剰余金 181,339,116 円について、利益剰余金処分額として減債積立金に 181,000,000 円を積み立て、残額 339,116 円は翌年度繰越利益剰余金とするものです。

５．水道事業貸借対照表（決算書Ｐ．１０～１１）

令和８年３月３１日現在の水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

［資産の部］

１．固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 19,548,025,546 円

(2) 無形固定資産合計 596,845,015 円で

固定資産合計は、20,144,870,561 円（明細は P.37～38 に記載）です。

２．流動資産は、

(1) 現金預金 3,401,703,778 円

(2) 未収金 366,819,368 円から貸倒引当金 6,169,053 円を差し引いた額 360,650,315 円

(3) 貯蔵品 23,759,946 円

(4) 前払金 44,000,000 円で

流動資産合計は、3,830,114,039 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 23,974,984,600 円が、資産合計です。

[負債の部]

３．固定負債は、

(1) 企業債 8,339,600,793 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 8,339,600,793 円(明細はP.39～42 に記載)

(2) 引当金 377,227,002 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 377,227,002 円で

固定負債合計は、8,716,827,795 円です。

４．流動負債は、

(1) 企業債 745,683,366 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 745,683,366 円 (明細は P. 39～42 に記載)

(2) 預り金 132,927,187 円

(3) 未払金 1,237,038,776 円

(4) 引当金 33,611,314 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 33,611,314 円で

流動負債合計は、2,149,260,643 円です。

５．繰延収益は、

(1) 長期前受金 5,943,970,467 円から収益化累計額 3,798,411,560 円を差し引いた

2,145,558,907 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 13,011,647,345 円が、負債合計です。

[資本の部]

６．資本金は、10,060,328,139 円です。

７．剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 721,670,000 円で

資本剰余金合計は、721,670,000 円です。

(2) 利益剰余金は、

イ　当年度未処分利益剰余金 181,339,116 円で、利益剰余金合計は、181,339,116 円です。

剰余金合計の 903,009,116 円は、資本剰余金合計 721,670,000 円に利益剰余金合計 181,339,116 円を加えた額です。

資本合計 10,963,337,255 円は、資本金合計 10,060,328,139 円と剰余金合計 903,009,116 円との合計です。

負債資本合計の 23,974,984,600 円は、負債合計 13,011,647,345 円と資本合計 10,963,337,255 円との合計です。